

新保健施設等複合施設に関するアンケート 結果

アンケート 概要

- 1 実施方法
(1) 区公式ホームページ上の回答フォームによる回答
(2) 用紙による回答（保健計画課窓口、向島・本所両保健センター、子育て支援総合センターにて配布）
- 2 実施期間
令和2年7月27日（月）から同年8月21日（金）まで
- 3 回答数
329件（うち、回答フォームによる回答 273件、用紙による回答 56件）

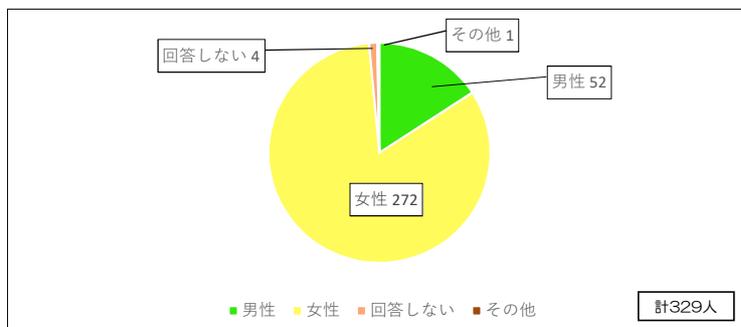
質問内容及び回答内容

Q1 性別を教えてください。（該当項目1つに○）

<選択肢>

ア. 男性 イ. 女性 ウ. わからない エ. 回答しない

「女性」が272人で約83%、「男性」が52人で約16%であった。
その他、「回答しない」が4人、「わからない」が0人、男性・女性いずれにも○をつけた回答が1人であった。

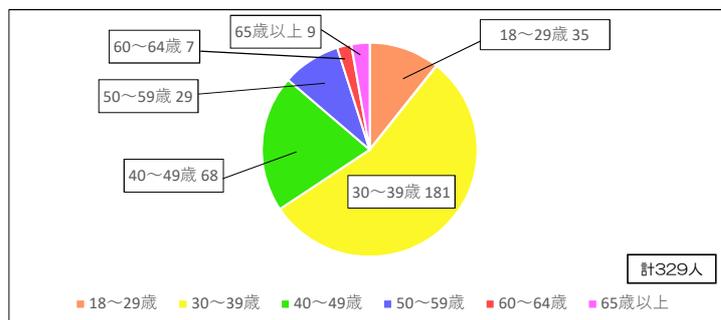


Q2 年齢を教えてください。（該当項目1つに○）

<選択肢>

ア. 18歳未満 イ. 18～29歳 ウ. 30～39歳 エ. 40～49歳 オ. 50～59歳
カ. 60～64歳 キ. 65歳以上

「30～39歳」が181人で最も多く、約55%であった。次いで「40～49歳」が68人で約21%、「18～29歳」が35人で約11%であった（「18歳未満」の回答者数は0人であった）。



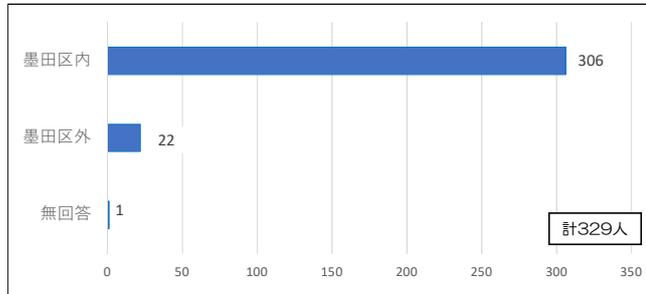
Q3 お住まいを教えてください。(該当項目1つに○)
 (「墨田区内」と回答した方のみ) お住いの地域を教えてください。

<選択肢>

ア. 墨田区内 イ. 墨田区外

⇒(「墨田区内」と回答した方のみ)お住いの地域を教えてください。(例「両国」「千歳」など)

「墨田区内」が306人と多く、約93%であった。「墨田区外」は22人で、無回答が1人であった。また、区内在住者を地域別で見ると、最多が「東向島」の27人、次いで「横川」「八広」の22人、「緑」の21人、「向島」の19人の順となっている。



Q3で「墨田区内」と回答した方の地域別回答者数

地域	回答者数	地域	回答者数	地域	回答者数	地域	回答者数
両国	16	亀沢	11	横川	22	京島	11
千歳	5	石原	10	業平	8	文花	7
緑	21	本所	11	向島	19	八広	22
立川	11	東駒形	5	東向島	27	立花	16
菊川	9	吾妻橋	6	堤通	2	東墨田	2
江東橋	5	錦糸	3	墨田	12	無回答	23
横網	2	太平	14	押上	6	計	306

Q4 現在お子様はいますか。いる場合は、年齢を教えてください。
 (該当項目に○(複数選択可))

<選択肢>

ア. 妊娠中

イ. 乳幼児(0~3歳)

ウ. 幼児(4~6歳)

エ. 小学生(1~3年生)

オ. 小学生(4~6年生)

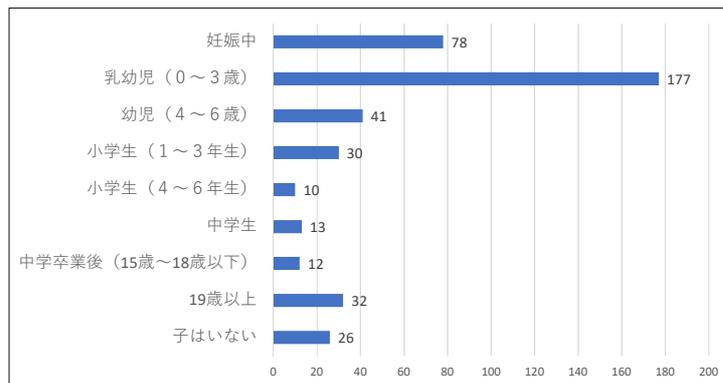
カ. 中学生

キ. 中学卒業後(15~18歳以下)

ク. 19歳以上

ケ. 子はいない

お子様がいる中では、「乳幼児(0~3歳)」が177件で最も多く、次いで「妊娠中」の78件、「幼児(4~6歳)」の41件の順となっている。



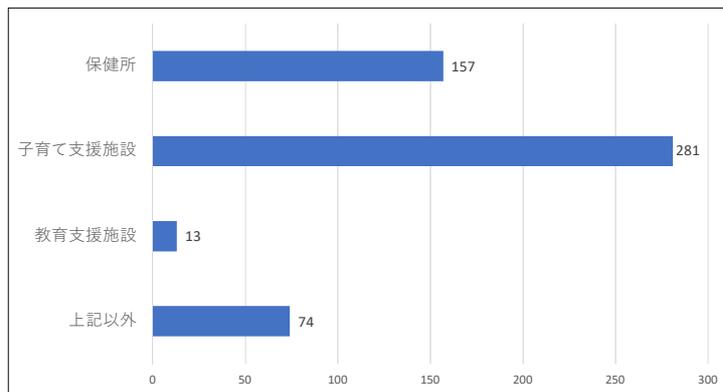
Q5 よく利用する区の施設をお答えください。（該当項目に○（複数選択可））

<選択肢>

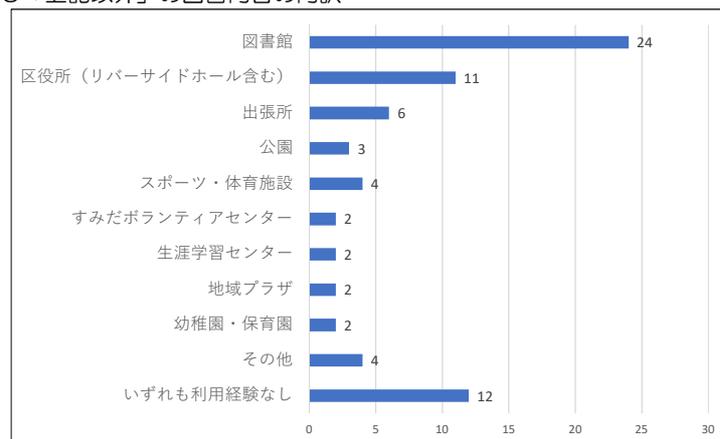
- ア. 保健所(保健センター、保健計画課、生活衛生課、保健予防課)
- イ. 子育て支援施設(子育て支援総合センター、子育てひろば、子育て政策課、子ども施設課、児童館)
- ウ. 教育支援施設(教育相談、就学相談等)
- エ. 上記以外

「保健所」が157件、「子育て支援施設」が281件で、「教育支援施設」が13件、「上記以外」が74件であった。

また、「上記以外」の回答の中では、「図書館」が24件、「区役所（リバーサイドホール含む）」が11件で、「いずれも利用経験なし」が12件であった。



Q5 「上記以外」の回答内容の内訳



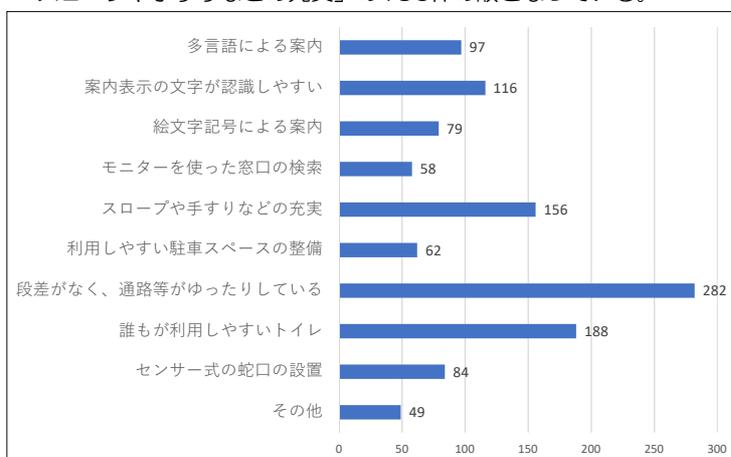
Q6 新施設はユニバーサルデザイン(※)を取り入れた施設としますが、その実現のためには何が重要と考えますか。(3つまで選択可)

※ユニバーサルデザイン…言語や国籍、年齢、性別等の違いや障害の有無等にかかわらず、多くの人が利用できることを目指した建築・製品等の設計

<選択肢>

- ア. 外国人にもわかりやすい多言語による案内
- イ. 案内表示において、文字が大きく認識しやすい
- ウ. 絵文字記号による案内
- エ. モニターを使った窓口の検索
- オ. スロープや手すりなどの充実
- カ. 利用しやすい駐車スペースの整備
- キ. 段差がなく、また通路や待合スペースがゆったりとしていることで、車いすやベビーカーのまま利用できる
- ク. 親子や高齢者、障害者等を問わず、誰もが利用しやすいトイレ
- ケ. センサー式の蛇口の設置
- コ. その他

「段差がなく、また通路や待合スペースがゆったりとしていることで、車いすやベビーカーのまま利用できる」が282件で最も多く、次いで「親子や高齢者、障害者等を問わず、誰もが利用しやすいトイレ」の188件、「スロープや手すりなどの充実」の156件の順となっている。



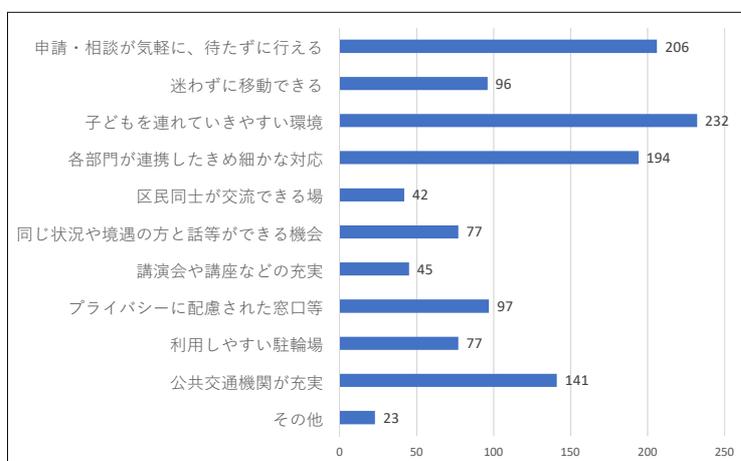
Q6「その他」の主な回答内容

- ・授乳室の整備
- ・専用スペースや乳児を横にできるベッドなど、おむつ交換スペースの整備
- ・総合窓口の設置やスマートフォンでの案内など、窓口・案内の充実
- ・ベビーカーを押したまま利用できることや、ウォシュレット対応など、トイレ環境の充実
- ・エレベーターやスロープの設置など、施設の移動手段の確保
- ・手指消毒剤を始めとする消毒用品の設置や新型コロナウイルス感染症への取組みなど、感染症対策の徹底
- ・チャイルドシート付自転車でも余裕をもって停められる広さの駐輪場の整備

Q7 新施設は、整備コンセプト「つなぐ・つながる」の中で、「人と人」「情報」の連携を掲げています。人と人、情報がつながった「利用しやすい施設」に向けて、どのような点が重要と考えますか。（3つまで選択可）

- <選択肢>
- ア. 申請・相談が気軽に、待たずに行える窓口
 - イ. 迷わずに移動できる(利用しやすい部屋の配置や動線)
 - ウ. 子どもを連れていきやすい環境
 - エ. 保健所・子育て・教育の各部門が連携したきめ細かな対応
 - オ. 区民同士が交流できる場の整備
 - カ. 同じ状況や境遇の方と情報交換や話などができる機会がある
 - キ. 講演会や講座などの充実
 - ク. プライバシーに配慮された窓口・待合スペース・相談室等
 - ケ. 利用しやすい駐輪場である
 - コ. 新施設にアクセスするための公共交通機関が充実している
 - サ. その他

「子どもを連れていきやすい環境」が232件で最も多く、次いで「申請・相談が気軽に、待たずに行える窓口」の206件、「保健所・子育て・教育の各部門が連携したきめ細かな対応」の194件の順となっている。



Q7「その他」の主な回答内容

- ・総合窓口の設置など、相談しやすい環境
- ・インターネットを活用した情報提供や申請
- ・子どもの健診での待ち時間の短縮や遊べるスペースの確保など、親子でも利用しやすいこと
- ・水害を始めとする災害時に強い設計
- ・男女を問わず、曜日や時間など、働いている人でも利用しやすいような施設運営や講座の開催
- ・チャイルドシート付自転車でも余裕をもって停められる広さの駐輪場の整備

Q8 新施設の整備コンセプトの中では、ほかに「安全」を掲げており、区民の安全に配慮し、安心して利用できる施設づくりを目指しています。特にアフターコロナ（ウィズコロナ）を踏まえた施設づくりにおいて、どのような点が重要であると考えますか。（自由記述）

Q8の主な回答内容

主 な 回 答 内 容
十分な換気対策
インターネットを活用した予約、利用時間帯の区分けなど、密にならない工夫
手指消毒剤の十分な設置、手すりの除菌など、こまめな消毒・除菌
入口における手洗い場の設置、石鹸の充実など、手洗い環境の整備
マスクの着用

Q9 新施設は、向島・本所両保健センターの一体化による保健所機能の強化、複数の分野が関わりうる健康への取組みの推進を行うため、保健所・子育て支援施設、教育支援施設の各機能が集約される複合施設です。機能が集約・連携することで、（1）期待・要望することはありますか。また、（2）その他ご意見があればご記入ください。（いずれも自由記述）

Q9（1）の主な回答内容

主 な 回 答 内 容
新施設へのアクセスの向上
手続きの簡素化やオンライン化
情報共有による迅速な対応や管理の一元化
子育てに関する相談をしやすい環境の整備など、子育て支援の充実

Q9（2）の主な回答内容

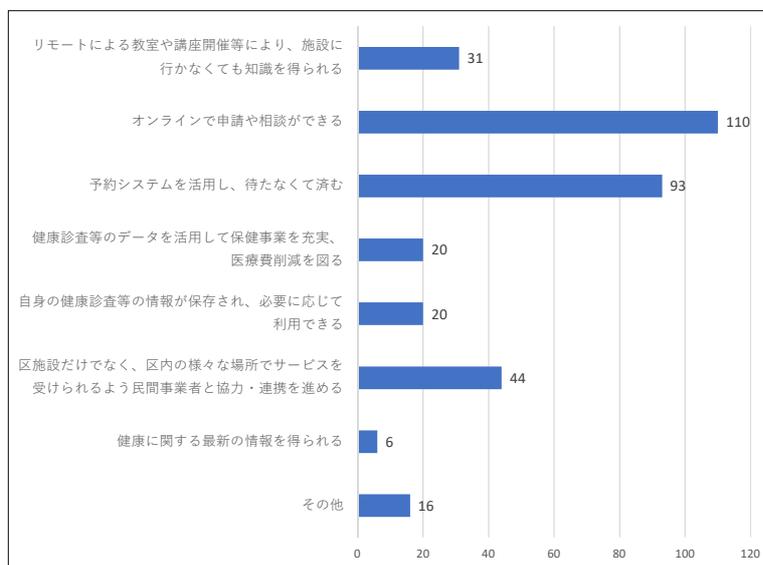
主 な 回 答 内 容
プライバシーの確保をして欲しい
個人情報の取扱いは慎重に行って欲しい
アクセスや利便性の向上を図って欲しい
機能集約により人が集まる可能性もあるので、混雑しないような工夫をして欲しい
遊べるスペースなど、子どもが楽しめるような施設づくりをして欲しい

Q10 これからの時代の保健所に期待することは何ですか。(該当項目1つに○)

<選択肢>

- ア. リモートによる教室や講座開催等のシステムを推進することで、施設に行かなくても知識を得ることができる
- イ. オンラインで申請や相談ができる
- ウ. 予約システム等を活用し、サービス利用の際に待たなくても済む
- エ. 健康診査等のデータを集約・分析し、生活習慣病予防等の保健事業を充実させることで、医療費の削減を図る
- オ. 自身の健康診査等の結果や予防接種履歴等の情報が保存・管理されており、必要に応じて利用することができる
- カ. 区施設だけでなく、身近な会場等区内の様々な場所で保健や子育て、介護等のサービスを受けることができるように、民間事業者との協力・連携を進める
- キ. 行政だけでなく、大学を始めとする研究機関等も含め、健康に関する最新の情報を得ることができる
- ク. その他

「オンラインで申請や相談ができる」が110件で最も多く、次いで「予約システム等を活用し、サービス利用の際に待たなくても済む」の93件、「区施設だけでなく、身近な会場等区内の様々な場所で保健や子育て、介護等のサービスを受けることができるように、民間事業者との協力・連携を進める」の44件の順となっている。



Q10「その他」の主な回答内容

- ・オンラインの充実
- ・高齢者など、情報格差が生まれないような対人による対応の必要性
- ・Q10の選択肢のバランス良い実施

Q11 別紙「アンケートのお願い」の「新保健施設の構成イメージ」をご覧になり、(1)良いと感じた点はありますか。また、(2)気になる点はありますか。(自由記述)

Q11 (1)の主な回答内容

主 な 回 答 内 容
保健所と子育て、教育の各機能が集約されることで、同じ施設内でスムーズに相談ができ、利便性が向上される
施設の老朽化に伴う建物の新築は歓迎したい
エレベーターなど、設備が充実している
吹抜けがあることで、開放感があり明るい印象を受ける
交流スペースや区民ラウンジがある
コンセプトに区民の声がよく反映されている
駐輪場や駐車場が広い
横十間川の歩道と接続している

Q11 (2)の主な回答内容

主 な 回 答 内 容
ベビーカー置き場の充実など、子どもと一緒にでも利用しやすい施設が良い
アクセスの向上
駐輪場や駐車場の台数の充実
水害や地震などの災害時の対応も想定して欲しい
吹抜けを屋内の環境づくりに活かして欲しい
吹抜けがあることで、下から覗かれるなど、プライバシーへの配慮が心配

Q12 その他、ご意見があればご記入ください。(自由記述)

Q12の主な回答内容

主 な 回 答 内 容
現在の保健センターの老朽化が気になっていたので、新施設に期待している
利用者目線で考え、最善の施設になるようにして欲しい
いずれの地域からでも行きやすいよう、アクセスの向上をお願いしたい
駐車場は広くして欲しい
横十間川との連携(接続)に期待したい
各機能が集約されることで施設の混雑や密の状態にならないよう、対策を取って欲しい
アフターコロナにおいて、施設や業務は分散されるべきではないか
オープンスペースではなく、常設の授乳室を設けて欲しい

主な回答内容に対する区の方

【子育てに関する機能や施設利用に関すること】

質問	回答内容	区の方
Q6	授乳室の整備	常設の授乳室やおむつ交換スペースを整備します。また、「赤ちゃん休けいスポット」として、乳幼児のお子さんを持つ利用者が、安心して利用できる施設を目指します。
Q6	専用スペースや乳児を横にできるベッドなど、おむつ交換スペースの整備	
Q12	オープンスペースではなく、常設の授乳室を設けて欲しい	
Q7	子どもの健診での待ち時間の短縮や遊べるスペースの確保など、親子でも利用しやすいこと	1階の乳幼児健診フロアに、十分な広さの待合スペースを設け、待ち時間に子どもが遊べるプレイコーナーを設置します。また、事前予約システムの導入により、待ち時間の短縮につなげるよう検討していきます。
Q9(2)	遊べるスペースなど、子どもが楽しめるような施設づくりをして欲しい	
Q9(1)	子育てに関する相談をしやすい環境の整備など、子育て支援の充実	新施設には「子育て支援総合センター」が設置され、施設を訪れた親子が気軽に立ち寄り、また子育てに関する相談を受けるなど、親同士がコミュニケーションを取れる場として利用できる施設として計画していきます。
Q11(2)	ベビーカー置き場の充実など、子どもと一緒に利用しやすい施設にして欲しい	新施設にはベビーカー置き場を設置するほか、常設の授乳室やおむつ交換スペースを整備し、子ども連れでも利用しやすい施設を目指します。

【窓口や申請、手続きに関すること】

質問	回答内容	区の方
Q6	総合窓口の設置やスマートフォンでの案内など、窓口・案内の充実	総合窓口を始めとする相談しやすい環境の整備のほか、デジタルサイネージや情報コーナーなどを通じた情報の充実を図っていきます。
Q7	総合窓口の設置など、相談しやすい環境	
Q7	インターネットを活用した情報提供や申請	インターネットやオンラインの活用は、区民サービスの向上や感染症対策の観点からも重要です。
Q9(1)	手続きの簡素化やオンライン化	電子申請などのICTを用いることにより、「書かせない」「待たせない」窓口の実現や、電子化によるオープンデータの活用も検討していきます。
Q10	オンラインの充実	

【感染症対策に関すること】

質問	回答内容	区の方
Q6	手指消毒剤を始めとする消毒用品の設置や新型コロナウイルス感染症への取組みなど、感染症対策の徹底	非接触型の水洗など、衛生面に配慮した設備のほか、入口における体温測定器の設置の検討など、利用者が安心して利用できる施設としていきます。
Q8	手指消毒剤の十分な設置、手すりの除菌など、こまめな消毒・除菌	
Q8	入口における手洗い場の設置、石鹸の充実など、手洗い環境の整備	
Q8	マスクの着用	マスクの着用を始め、カウンターの机にパーティションを設置するなど、飛沫対策に配慮していきます。
Q8	インターネットを活用した予約、利用時間帯の区分けなど、密にならない工夫	インターネットでの事前予約システムや電子申請、リモートによる会議や相談など、ICTの活用により、施設に来なくても用事が済む、施設に来たとしてもできる限り待たずに済むなど、利用者が安心して利用できる施設を目指していきます。 また、職員を含めた施設の収容人数や、施設内のレイアウトの工夫などを考慮し、密にならないよう適切な安全策を講じます。
Q9(2)	機能集約により人が集まる可能性もあるので、混雑しないような工夫をして欲しい	
Q12	各機能が集約されることで施設の混雑や密の状態にならないよう、対策を取って欲しい	
Q12	アフターコロナにおいて、施設や業務は分散されるべきではないか	
Q8	十分な換気対策	建築物衛生法が定める基準を満たした十分な性能の空調・換気設備の設置のほか、吹抜けを介した自然換気の促進や換気が行われやすい窓の形状など、換気対策に配慮した施設としていきます。

【建物及び外構の整備に関すること】

質問	回答内容	区 の 考 え 方
Q9 (1)	新施設へのアクセスの向上	新施設は、既存の公共交通機関をご利用いただけるほか、十分な駐輪場、駐車場を確保する、障害のある方でも利用しやすい駐車場とするなど、利用者がアクセスしやすい計画としていきます。
Q9 (2)	アクセスや利便性の向上を図って欲しい	
Q11 (2)	アクセスの向上	
Q12	いずれの地域からでも行きやすいよう、アクセスの向上をお願いしたい	
Q7	チャイルドシート付自転車でも余裕をもって停められる広さの駐輪場の整備	新施設は、保健所・子育て・教育の各機能が集約されることなどから、チャイルドシート付自転車用の駐輪場を含め、十分な駐輪場、駐車場を確保していきます。
Q11 (1)	駐輪場や駐車場の広くて良い	
Q11 (2)	駐輪場や駐車場の台数が充実しているのか気になる	
Q12	駐車場は広くして欲しい	
Q11 (1)	施設の老朽化に伴う建物の新築は歓迎したい	新施設は、向島・本所両保健センターの老朽化が進んでいること、健康や子育て、教育に関する問題に対して多角的・効率的に対応し、施設利用における利便性を向上させる必要があることから、各機能を統合・集約するものです。 引き続き、関係団体との意見交換や会議等を通じてご意見を伺いながら、区民の皆様が利用しやすい施設を目指します。
Q11 (1)	エレベーターなど、設備が充実していて良い	
Q11 (1)	保健所と子育て、教育の各機能が集約されることで、同じ施設内でスムーズに相談ができ、利便性が向上される	
Q12	現在の保健センターの老朽化が気になっていたので、新施設に期待している	
Q12	利用者目線で考え、最善の施設になるようにして欲しい	
Q11 (1)	吹抜けがあることで、開放感があり明るい印象を受ける	
Q11 (2)	吹抜けを屋内の環境づくりに活かして欲しい	自然採光や自然換気の促進、また開放感を感じることのできる吹抜けを設置する計画としています。 吹抜けの設置に際しては、利用者のプライバシーに最大限配慮していきます。
Q11 (2)	吹抜けがあることで、下から覗かれるなど、プライバシーへの配慮が心配	
Q6	ベビーカーを押したまま利用できることや、ウォシュレット対応など、トイレ環境の充実	
Q6	エレベーターやスロープの設置など、施設の移動手段の確保	ユニバーサルデザインの観点を踏まえ、だれでもトイレを各階に設置するほか、エレベーターやスロープの整備など、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した施設を目指します。
Q7	水害を始めたとする災害時に強い設計	大雨による都市型水害を想定した止水板の設置など、水害対策を講じていきます。 災害時には、1階の多目的ホールと共用部、駐車場などの外部スペースを活用し、「地域内輸送拠点」として機能する計画としています。また、災害対策本部保健衛生部の活動拠点や感染症対策の拠点ともなることから、災害時はもちろん、健康危機などの有事にも対応できる施設として計画していきます。
Q11 (2)	水害や地震などの災害時の対応も想定して欲しい	
Q11 (1)	横十間川の歩道と接続している点が良い	新施設の東側を流れる横十間川の遊歩道と連携した、潤いのある空間とすることで、区民が気軽に立ち寄ることができ、親しみを持ってもらえる施設を目指します。
Q12	横十間川との連携（接続）に期待したい	
Q11 (1)	交流スペースや区民ラウンジがある点が良い	利用者が休んだり、健康に関する情報を得たりすることができ、また区民同士の交流が図られることを目的に設置するものです。

【情報の取扱いやプライバシーに関すること】

質問	回答内容	区 の 考 え 方
Q9 (1)	情報共有による迅速な対応や管理の一元化	健診記録や予防接種の履歴などの電子化や、医療機関や訪問看護ステーションとの多職種連携など、ICTの活用を検討していきます。
Q9 (2)	個人情報の取扱いは慎重に行って欲しい	また、保健所・子育て・教育の各機能の連携により、利便性の高い施設を目指しますが、いずれの機能もプライバシーに係る情報を扱う機会が多いことから、個人情報の管理について十分に配慮していきます。
Q9 (2)	プライバシーの確保をして欲しい	新施設は複数の機能が集約される複合施設であることから、様々な利用者が訪れることが想定されます。そのため、各フロアに相談室を設置する、特にプライバシーへの配慮が必要な場合は一般利用者と動線を分けるなど、プライバシーの確保に努めた計画としています。
Q10	高齢者など、情報格差が生まれないような対人による対応の必要性	対面による窓口対応や相談を引き続き実施するなど、インターネットなどのICTを利用できる人とできない人との間で受けられるサービスに格差が生じないように、柔軟に対応していくことが必要であると考えています。

【その他】

質問	回答内容	区 の 考 え 方
Q7	男女を問わず、曜日や時間など、働いている人でも利用しやすい施設運営や講座の開催	各階でのだれでもトイレの設置や、また1階の情報コーナーにおける、電子上で様々な情報を閲覧できる仕組みなど、どなたでも利用しやすい施設となるような運用の方法を検討していきます。
Q11 (1)	コンセプトに区民の声がよく反映されている	「新保健センター等複合施設整備基本計画」（平成29年9月）を策定するに当たり、平成28年度に区民及び有識者による懇談会等を実施しています。そこで出たご意見、要望等を踏まえ、上記計画を策定しました。 今後も、アンケートや関係団体への聞き取りなどを通じ、利用しやすい施設の運用を目指します。
Q10	これからの保健所に期待すること	区が策定した「すみだ健康づくり総合計画」では、「健康寿命の延伸」や「健康格差の縮小」を目指す姿に掲げています。その実現のため、例として以下のような取り組みが必要であると考えています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用（リモートによる講座等の開催、オンラインによる申請や相談等） ・健康、医療、介護に係る情報を集約し、分析・活用することで、生活習慣病予防や医療費の削減を目指す「データヘルス」の推進 ・区民が自身の健康、医療、介護に関する情報を必要に応じて利用でき、自ら健康増進や生活改善などに役立てることができる仕組みづくり ・サービスの充実に向けた民間事業者との協力・連携 ・大学を始めとする研究機関との連携による、区民に向けた健康情報の充実